

## 新しい経済社会観の育成の試み

社会科教育講座・松野尾 裕

### 1. 授業の概要

科目：資料の読解と分析（経済学）、後期・金曜3限

授業題目：現代経済思想研究

授業のキーワード：貧困と開発

授業の目的：今日の経済社会における最大のテーマは「格差」であり、「貧困と開発」の問題の解決は平和な社会を築くための最優先課題である。「教材研究の基礎（経済学）」における学習を進展させ、この問題に関する文献の講読を通して、「貧困と開発」についての理解を深める。

授業の到達目標：（1）「貧困と開発」をめぐる問題の重要性を理解し、問題解決へ向けての新たな取り組みについて深い認識を持っている。（2）貧困と開発に関して短いエッセーを論述することができる。

（3）書籍・雑誌・新聞等の「貧困と開発」問題に関する記事に興味を持つことができる。

愛大学生コンピテンシーとの関連：

○個別の知識や技能を相互に関連付けながら習得できる。

○習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立てたり、適切に表現（記述・口述）できる。

授業概要：現代の経済社会の特質を思想に焦点を当てて考察する。社会構造の近代化・工業化過程に現れる諸思想（「豊かさ」「自由」「発展」等）の特殊性と普遍性を明らかにすることが主要課題となる。授業は発表・討論式で行う。したがって授業のスケジュールは受講者の学習状況に応じて決定される。テキストは広井良典著『ポスト資本主義—科学・人間・社会の未来—』（岩波新書、2015年）。授業時間外に授業における発表及び討論のための準備を行う時間（毎回3～10時間）を持つことが必要である。

受講者数：大学院1回生 4名

授業の進捗：受講者の熱心な授業参加により、ほぼ

当初計画したスケジュール通りに進行した。

### 2. 授業評価アンケート：結果と分析

「授業評価アンケート」は大学院教科教育専攻ディプロマ・ポリシーに基づいて授業者が作成した。

アンケート結果：

（1）＜知識・理解＞ 専門教科の教育に関して高度な専門的知識を習得することに役立ったか

大いに役立った 1

役立った 2

あまり役立たなかった 1

まったく役立たなかった 0

（2）＜思考・判断・表現＞ 教育をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考え、高度な実践力をもって教育活動に取り組む力を培うことに役立ったか

大いに役立った 2

役立った 2

あまり役立たなかった 0

まったく役立たなかった 0

分析：（1）（2）とも「大いに役立った」「役立った」の評価が過半数～全てとなり、まずまずの結果であった。（1）を「あまり役立たなかった」と答えた者が（2）を「大いに役立った」と回答している。この者は学習意欲が高く、一層高度な経済学の知識を求めていた。高等学校の授業内容づくりを基準にしてテキストや討論時の話題を工夫しているが、経済学の特に理論面の学習を求める受講者には物足りないかもしれない。15回の授業回数では難しい。

### 3. まとめ

未来へ向けて希望ある社会像を創り出す経済教育を探るための授業を今後も試みたい。